

2019年度市政懇談会 開催結果概要

- 日 時 令和元年6月7日(金)午後6時～
- 会 場 コア鳥取
- 出席者 12名

〔市長より説明 (別途資料参照)〕

〇つながる まち・ひと・みらい ひがし北海道の拠点都市・釧路

- ・ 釧路市の現状と課題
- ・ 釧路市まちづくり基本構想
- ・ 雇用の拡大、人材の確保
- ・ 子育て環境に係る施策
- ・ 学力向上に係る施策
- ・ 防災に係る施策
- ・ 都市機能向上に係る施策

〔事前調査による地域からのご意見等〕

■生活保護自立支援プログラムについて

釧路市の生活保護自立支援プログラムの「日常生活意欲向上支援プログラム」に、地域で暮らす自立支援者を町内会の活動に参画させていただけないか。

【福祉部長】

町内会活動は住民参加による「まちづくり」の基本であり、それに参加することは非常に重要なことと考えています。生活保護自立支援プログラム事業は、年間実施計画に基づき希望者を募集し、実施後に個人の活動状況報告書を事業者に求め、個々の状況に応じた支援を行っているものです。

現在も、多くの市民の皆さんが利用する動物園や市が管理している市内各公園の清掃や草刈りなどを実施しており、地域社会貢献への一助を担ってきたところですが、町内会という地域コミュニティに限定した活動に対して、生活保護受給者が自立支援プログラムの一つとして参画することは、個人を特定する事にも繋がり、個人情報保護の観点などから、そのような活動への参画には課題があると考えております。

今後、様々な工夫によりこのような課題がクリアされ、生活保護を受給されている方の意欲向上に繋がる町内会活動に参加できる事案がありましたら、ぜひ、生活福祉事務所にご提示いただき、事業実施要件なども含め個別にご相談させていただきたいと考えております。

■障がい者、高齢者情報と課題について

高齢のご夫婦で、公的支援も受けていなく、ご主人の持病の糖尿病の治療も受けずにほぼ失明され、徘徊したことで、その存在が判明した事案がありまし

た。ご主人の受け入れ先や奥様の生活支援に関わり、多くの時間を要し、市役所の各窓口や包括支援員とのやり取りを含め大変苦勞しました。「一人の不幸も見逃してはならない」福祉社会の根底に関わることでありますので、市の見解をお聞かせください。

【福祉部長】

昨今の少子高齢化の進展や価値観の多様化、人間関係の希薄化、核家族化が進む中、すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、福祉サービスの充実を図るのみならず、支援が必要な方を早期に発見し、必要なサービスの利用に繋げることが重要であると認識しております。

市では、市内の70歳以上の高齢者約4万人のうち、要介護認定を受けていない約2万8千人を対象とした地域包括支援センターによる高齢者への戸別訪問（高齢者実態調査）をはじめ、障がい者のサービス未利用者実態調査や、釧路市生活相談支援センター「くらしごと」による訪問相談などを実施するとともに、民生委員児童福祉委員との情報交換等を積極的に行うなど、地域との連携強化を図ることで、潜在化している支援が必要な方の掘り起こしに努めているところであります。

今後も地域の皆様や関係機関との連携と協力のもと、支援が必要な方の早期発見と円滑な支援に繋げてまいりたいと考えております。

■古紙の分別（分け方、出し方）について

古紙の分別が時代に即していないと感じているので、以下の内容についての見解をお聞かせください。

【分別・出し方に関するご意見】

・新聞紙・雑誌・チラシ類について

ホチキス止めの雑誌は、チラシや新聞と合わせて排出することができます。

写真や加工紙は、可燃ごみとして排出してください。

背のりの雑誌は、別にして束ねて排出してください。

・紙パック類について

中が銀色の物も同様に排出してください。

注ぎ口のプラスチックは取り外してください。

・段ボールについて

たたんでコンパクトにして排出してください。

【市民環境部長】

雑誌をホチキス止めと背のりで分けるご提案につきましては、新聞紙とチラシは新聞紙に再生するために新聞として一括で集め、雑誌はホチキス止めとのり付のものを雑誌として一括で集めております。のりは、新聞の再生に支障があり、のりの混入を防ぐために新聞のみで集めております。一方、ホチキス止めの雑誌については、再生過程でホチキスを取り除くことができるので、のり付の雑誌と一緒に集めています。

写真や加工紙につきましては、可燃ごみに指定しており、資源物の分別では

なく、可燃ごみの分別に記載しております。

中が銀色の紙パックを資源物の紙パックと同様に排出するご提案につきましては、中が銀色の紙パックは、少量の混入は処理が可能ですが、多量になりますと処理に支障がでることから、現状では変更する考えはありません。

注ぎ口付きの紙パックの注ぎ口を外してから、紙パックとして排出するご提案につきましては、注ぎ口のプラスチック部分は取り外してから排出していただくよう市民の皆さまへ周知してまいります。なお、取り外した注ぎ口はプラスチック製容器包装として排出することになります。

段ボールをたたんでコンパクトにして排出するご提案につきましては、分別帳内に「たたむ」ことの記載はありましたが、市のホームページには「たたむ」ことの記載がありませんでしたので、追加し記載したところです。

■空家対策について

不動産業者との情報の共有も含め、連携した対策を講じているのかお聞かせください。

【都市整備部長】

釧路市では、民間専門家5団体と空家等対策に関する協定を締結し、市民からの相談体制の充実等、空家の問題解決へ向けて、連携を図っております。

この協定の趣旨を踏まえ、専門家団体に対して、空家の位置情報を提供するべく調整を進めているところです。

その他に、平成29年度より開催しております「空家無料合同相談会」におきましても、専門家団体から相談員を派遣していただくなど、連携し空家等対策を講じているところです。

今後も、市民の皆様が安全・安心に暮らせるよう、対策を行ってまいりたいと考えております。

●質疑応答

【参加者A】

生活保護自立支援プログラムの個別の案件になりますが、生活保護を受けている方の子どもが、地域の活動に参加してくれます。親の事情で、親は参加しなくてよいと言ひ、子どもは参加したいと言う。そういうものを、できれば市の方にも入っていただいて、市にサポート、仲人役、助言役をしてもらいたいというのが私の率直な意見です。

次に障がい者、高齢者の情報についての課題です。町内会で色々協力してくださる高齢の方がおります。困ったことはないか聞いた際には、困ったら言うねと言われ、少し経って実際に見た時にはすごく大変なことが起きていることがあります。それを誰がやるのかという話です。私は市役所に何回も足を運びました。そうすると、これはこうしてください、これもこうしてくださいと言われるのですが、その方がなかなか言葉の意味もわからないし、言われていることが理解できない。それを誰がサポートするのですかという話をしましたら、

民生委員であったり、地域の方であったり、包括支援センターの方であったりという話で、自分の時間がものすごく取られる状況になります。先日、福祉事務所に話をしたら、それを包括支援センターでサポートしてくれるものがあるというのですが、私が実際に行った時はありませんでしたし、誰も繋いでくれませんでした。市ではあると言っている、私たちには見えないのです。個人情報との関係もあると思いますが、民生委員の方や、地域の方もわからないことがあるので、ぜひとも何かの場で、そのような情報の共有ができないかというのが私の意見です。

古紙分別の話ですが、釧路には二つの製紙工場があります。先ほどの答弁で間違っているところがありますので、ご確認いただけたらと思います。私の町内会に、製紙工場の仕分けの現場で働いていたOBがおられて、私は色々なレクチャーを受けました。今の現場もあると思いますが、ぜひ再度ご確認いただけたらと思います。

空家対策について、空家の活用方法を仲間たちと話しました。市議会議員を通して市に打診したら、個別の事業のサポートはできませんという話でした。ぜひとも地域の中の課題を地域の人、または専門の業者さんを交えて、この課題はどのようにしたら解決できるのか、行政の立場でどのようにしたらできるか、一緒に考えてみませんか。どうしてかといいますと、そこを活用するにしても、私たちは調べられない訳です。持ち主、相続を受ける人を行政は把握できているらしいのです。解決にはどのようにしたらよいか、行政からお金ではなく知恵を出して欲しい。情報を共有させてほしいというのが私の提案です。

【市長】

個々の相談に対して、私どもの行政の側は色々なことに対しての知識も含めて、対応等出てきますが、こちらからそこに行く場合、「指導」が強くなっていくというものでありますので、本当に難しいものがあると思っております。どのような形でコミュニティや地域を作っていくのかとなると思いますが、行政がそのようなところに入っていくと「指導」等と受け取られます。そうすると逆に業務以外のことを言っていると言われた時には、私たちが国から指導を受けるといったところが、なかなか難しいものがあると思っております。

先程のご高齢者の方につきましても、周りの方との交流が必要であると認識していただかなければならないと思っております。今は一言も話をせず買い物をすることができ、生活していける時代と言われております。色々なところに参加し、人に会い、交流があって初めて成り立つものだと思うのですが、そこが真逆の方向に進んでいると思っております。その中で公の側で色々なことを行っていく時に、地域の中で人間関係やコミュニティがあれば良いと思っております。逆に公がやるほど、町内会に入らなくてもよいとか、何かあれば市役所がやってくれるというのは良くないですねという意味で、このような本質的な点を話していただければ、なかなか難しいものがあると思っております。先程の話で、当市の仕組みは後見人制度のことかと思っておりますので、後程、部長からお話しさせます。

ごみのことは、改めて確認していきたいと思います。

空家については、個人情報を出していくことができないということがあります。空家を所有している人から同意を得られた場合には、色々な活用の仕方も出てくると思っております。空家になった物件については、私どもも補助制度を持っております。責任ある人が補助制度を使い、しっかり管理しましょうということではありますが、問題は責任を持たない人、もしくは誰が所有しているかわからないということがあり、困っている状況であります。例えば日本の相続の仕組みでは、権利のある人がたくさん存在することから、私どもがそれに対応すると、一人ひとりに了解をいただかなければならないなど、国の法律の部分で困っているところでもあります。

空きビルについては、北大通の上から壁などが落ちてきたら困るので、下に柵を設置し、危ないから歩道を通らないようにしている状況があります。空きビルを所有している人は何もしない状況で、何かが落ちて人に被害があればどうするのかということがあります。そのようなものに対応したいという中で、国が空家対策特別措置法を制定し、これで解決できるかと思っていまして、なかなか前に進まない法律でありました。これにより、公でビルを壊すことができるのですが、ビルを壊したら、そこは所有者のものになるのです。ビルを所有し、何の管理もせず、何の責任もとらずに、皆さんに迷惑が掛かるからといって、公のお金を投入して取り壊しを行うと、その人の資産が上がるようになっているのです。私は、しっかり管理しないことを進めるような法体系であると国土交通省でその話をし、全道や全国の市長会においても、この点を何とか対応していこうと思っております。実はこれも地方都市であるからなのです。地方都市は、地価がそれほど高くないので、買うと壊したお金が負担になってビジネスモデルとして成り立たないのです。これらから、空きビルは地方にしかないものなのです。

福祉の関係については、部長からお答えします。

【福祉部長】

先程のご質問について、町内会のお話がありましたが、生活保護費の中に町内会費という支援する分の補助費が入っていないことから、行政で町内会の良さをお伝えできても、加入等は、本人の自主性や個人の判断が強いと思っております。町内会でこの方に参加して欲しいとか何かあれば、コーディネートを市が担うことはできると思っております。これについては、あくまでも本人の意思に基づいて本人がやってみたい、参加したいということが第一と考えております。

もう一つの地域の潜在的に支援が必要である方の発見や、市にご相談いただいたが、なかなか情報の共有ができていないというお話がありましたが、市だけで100%を発見する、全て支援するということは不可能であります。そうした中でも地域の方、民生委員の方、色々な関係機関に委託している部分もあるのですが、そのような方をより良い場所にお連れするというものが福祉の仕事と思っており、皆で力を合わせて支援していくことが大事であると思っております。実は町内会の方に入ってきていただき、実施している会議が多数あります。

包括支援センターが実施している包括ケア会議にも、民生委員の方や対象者がお住まいの町内会の方にも入っていただき、市では把握できない日頃の様子や身近な方のご意見もいただきながら、その方にふさわしい支援を実施していくところです。今後もしっかり務めさせていただきたいと思います。

なかなかご本人の判断がつかない方については、成年後見制度があります。ご本人が相談に行くことが難しい認知症の方、また精神障がい者の方など色々いらっしゃると思いますが、そのようなご支援もできますので、成年後見制度を利用した方がいいという方がおられましたら、ぜひ市の方へも繋いでいただきたいと思います。皆様のご協力なくして福祉行政を進めることは難しいことでありまして、市で出せない個人情報も多々あるのですが、会議の中では皆様にお断りをしながら個人情報の資料を配布して、会議終了後に回収する取り組みもしておりますので、ご理解いただき、引き続きご協力をお願いしたいと思っています。

【参加者B】

当町内会には、約900世帯住んでおりますが、町内会会員は約210世帯くらいです。毎年10世帯ぐらいつつ少なくなっています。児童館を利用している若夫婦の子どもさんで、町内会に入っていない場合もあります。私がある児童館の総会に行ったところ、協力費の増額をお願いされました。

お年寄りを持ち家が多いものですから、一生懸命がんばって町内会の会費を払っています。そこから協力費を増額して欲しいと言われたのです。街灯が100本あるので、年間20万円の電気料金等色々なお金が掛かるのですが、加入していない若夫婦などにアピールする方法はないでしょうか。回覧板は、町内会に加入している人にしか回らないです。加入していない人には、情報が届きません。そうすると市の方で新聞でもなんでもいいのですが、ぜひやって欲しいと思いました。以前、町内会加入世帯は400世帯ありましたが、今は210世帯で、大変な状況です。市で良いアイデアがあればと思い、今日初めて参加しました。よろしくお願いします。

我々の町内会で持ち出しといえ、一番大きな金額になります。次年度からと言われましたが、金額的に大きなものです。

【市長】

町内会の加入率が50%を切っている状況の中で、町内会の加入が必要であるということ色々な場面で話をしていけば上がっていくのだろうというイメージを持ちながら、10年間お話をし続け、また連合町内会と連携しながら様々な事業を行ったり広報くしろを使ったり色々なことを進めているのですが、なかなか増えない状況にあります。若い人たちの世代の中では、町内会を作るといふ動きもあるのですが、役職を引き受ける方がいないため、町内会を解散するという事例もあり、しっかりとした数字が出ていない状況です。

ここは、言い続けていくことが必要だと思っています。九州などの歴史があるところでは、90%の町内会の加入率で、90%を切って危機感を持ちなが

ら町内会加入促進運動を進めているところがあります。札幌の場合も70%を超えております。例えば除雪などで、一緒に作業するところがあります。札幌の町内の道路は、行政で除雪しないのです。町内会で、自分たちでお金を出しながら進めているから、マンションに入っても道を使うため、町内会に参加しながら進めていくという形になっております。そうなりますと、義務付けることはどうなのだろうかということが出てきますので、やはり言い続けるしかないという状況で行っているところです。

連合町内会でも、短大の学生さんたちとそういったお話しをしていたり、若い世代の人たちの加入促進を色々と進めていただいたり、町内会のアドバイザーとして人を派遣したりしながら進めていく等を行っているところです。全国の中でも町内会の加入率が低下している中で、意識を変えていく形をとっていかねばならないと、様々な取り組みを行っているところですが、そこが非常に課題となっております。

児童館の運営協議会の協力費などについて、この現実等をどのような形でみんなが認識するのかということもありますので、見えないところで対応するのではなくて、事実は事実としてしっかり出していきながら、その中でどのようにするというのを考え、報告しながら進めていけるよう、一生懸命考えたいと思います。

【参加者B】

催しの参加者はすごい人数です。余力・体力のある、早いうちに手を打たなければいけません。利用しているのは、若夫婦のお子さんで、払うのはお年寄りといった現状は逆だと思えます。町内会には入ってくれないが、盆踊りを開催すれば、2日間それぞれ100人くらい子どもが来るのです。町内会に入っている、入っていないにかかわらず、200人にお土産を用意し、渡しているのです。街灯を付ける、子どもたちにお土産を渡す、ラジオ体操をする、そのようなお金はさらに出ているのに、会員は減る一方なので、市の方で何とかしてもらいたいと思えますし、いい妙案はありませんでしょうか。

【市長】

児童館の運営協議会がどのような形になっていて、どういうことにお金が使われているのか認識されていないということもあるのかもしれません。

【参加者A】

私たちのところでは、何かをするにしても、町内会でこういうことをやっているの町内会活動にご理解くださいと言っています。加入していなくても、ぜひ参加してくださいとやっているのですが、別な感覚を持っている親が、子どもに行くなと言っていることもあります。

【参加者C】

私たちの児童館の場合は、子どもたちが参加しているものについては、子どもたちがお金を出して参加しています。まったく無料で参加している訳ではありません。あとは、児童館ですから、地域で子どもたちを育てるのだという考え方で町内会が参加しています。今言われた悩みは各町内会あるのです。しか

し、いろいろ努力、工夫しながらやっています。

【市長】

釧路市は他地域と比較して児童館の数がすごく多いのです。住んでいる人たちは当たり前だと思っていますが、利用・利便性が高く、外から来た人たちにこれだけ児童館があってこのような形で素晴らしい環境ですねと言われます。

【参加者B】

児童館の催しの参加者は、すごい人数です。だからこそ自助努力をしてやってもらわないと、お金がないから町内会に出せでは、早いうちに手を打たないとやっていけなくなるのではないかと思います。

【市長】

これは大きな課題で、何がどうしているかということを表に言っていくことが必要だと思います。世の中、どのようなものでも無料のものはありません。コストもしくは労力が掛かる。そのようなことをわかって初めて感謝する気持ちになる訳です。例えば100円かかるものが30円なら、70円は誰かが負担しているということが必ずあるのです。事実関係を踏まえながら相談し、進めていきたいと考えております。

【参加者B】

皆さんが認識してくれているかどうかです。町内会加入のメリットがないと言われるのですが、実際はあるのです。誰が街灯を明るくしているかわかって欲しいです。

【市長】

公立大学の山形の学生が、実家を出るときに釧路で町内会に入るよう親に言われ、今加入しているということです。山形には、そのような文化があるということで驚きました。実態を踏まえながら、どのような形ができるかということです。

【参加者D】

児童館や児童センターが悪いということではありません。

【市長】

実際問題として子供たちが増えてきて、もっと色々やってあげようという気持ちになれば、悪いけど協力費を上げてもらえないかといったこともあると思うし、町内会のことを考えれば大変だから下げていきましようかということで、事業は少なくなるし、子どもの笑顔は見たいしと色々あると思います。そのようなことを踏まえた中で、真剣に考えます。

【参加者D】

東京事務所は何をどのようにしているところですか。

【市長】

東京には、釧路市に縁のある方々の会「在京釧路会」があり、何百人もの会員がいます。この会の活動をサポートしながら進めております。他に、私ども地方自治体は、国とのやりとりが多々あり、東京へこちらからそうそう行けな

い中で、東京事務所が各省庁と話をしたり、情報をとったりして、要請を行っております。このようなことが東京事務所の仕事です。

【参加者D】

釧路の人口が減っているということは、産業が無いということだと思のですが、そのようなところを、前からやるべきではなかったかと思いますがいかがでしょうか。

【市長】

企業誘致も行っています。地元の企業で東京に会社があるので、その中からタッグを組んでいこうと企業まわりも行っています。例えば食品関係など、色々まわっての誘致を5～6年前から行っています。

【参加者D】

実際に行っているのはわかりますが、目に見えて出てこない状況です。今、大手銀行で、自分の仕事を持ちながら兼業をしてもいいということも出ているので、商社等を使って進めるべきと思います。

【市長】

地方は、昔から企業誘致を行うところでした。釧路で企業誘致となると、例えば大塚食品・大塚製薬等、オロナミンCは水がすばらしく良いからという必然性で工場を作ることがありました。他に、益浦にも東光薬品工業があり、OEMといった、他の色々な製薬会社の製品を、パッケージはそのものを使うが製造はここで作っているということで、今、増設検討の話も出ています。ここは前社長がロケーションを大変気に入って来たということで行っているものもあります。

企業誘致のために各地域が、補助制度や優遇措置を出し、それぞれ競い合っているということもあります。先程お伝えした必然性という点で、気候風土等を活かすということであれば、北海道サラダパプリカがその例です。オランダと同じ仕組みの中で、冷涼かつ日照時間が長く、あわせて隣の王子マテリアの工場の蒸気や熱を使えるということで、国内でも高い生産量となっています。

このような組み合わせがこれから必要になると考えています。情報を外に出していきながら地元の会社に力を付けてもらうといった k-Biz のような形の中でそれぞれの会社で売り上げ増をし、雇用に結び付け、最終的に働くところが多くなるということを考え、どちらかではなくトータルで行っているのが実態です。

【参加者D】

わかりました。目に見える形でしっかり進めて行って欲しいと思います。

【参加者A】

ひがし北海道の拠点都市ということで、釧路のまちの港を活かしたバルク戦略に取り組み、中部飼料株式会社に当市の地域に入ってきていただき、ひがし北海道全体の酪農の物流の拠点として、港湾を生かした取り組みで雇用が少し増えると確信しています。今、市民の見える形でお話しがありましたので、

市民と一体となつての諸問題の解決に、わたしたちも市民の一人としてがんばっていきたいと思いますので、これからも皆さんよろしくお願ひします。